（革新）様式1-4-2 (2022-1)

令和　年度研究開発成果概要書

採択番号

研究開発課題名

副題

（１）研究開発の目的

（２）研究開発期間

　　　　令和　年度から令和　　年度（　年間）

（３）受託者

（４）研究開発予算（契約額）

令和　年度から令和　年度までの総額　　　百万円（令和　年度　　　　百万円）

※百万円未満切り上げ

（５）研究開発項目と担当

　　　　研究開発項目１

　　　　研究開発項目２

（６）特許出願、外部発表等

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  |  | 累計（件） | 当該年度（件） |
| 特許出願 | 国内出願 |  |  |
| 外国出願 |  |  |
| 外部発表等 | 研究論文 |  |  |
| その他研究発表 |  |  |
| 標準化提案・採択 |  |  |
| プレスリリース・報道 |  |  |
| 展示会 |  |  |
| 受賞・表彰 |  |  |

（７）具体的な実施内容と成果

または

（７）具体的な実施内容と最終成果

研究開発項目１：

研究開発項目２：

（8）今後の研究開発計画

または

（8）研究開発成果の展開・普及等に向けた計画・展望

（９）外国の実施機関

**Web等で公表される資料となります。わかりやすく簡潔に（3ページ程度）記載ください。**

（革新）様式1-4-2 (2022-1)

**記入要領**

**本ページ以降の提出は不要です。**

# **-記入例**-

令和X年度研究開発成果概要書

採択番号、

研究開発課題名、

副題

を記入してください。

採択番号　　　999B01

研究開発課題名　〇〇〇〇〇〇の研究開発

副題　　　□□□□□□□アーキテクチャの実装

（１）研究開発の目的

実施計画書に記入している「研究開発の目的」の記載に基づいて、わかりやすく簡潔に記入してください**。**

（２）研究開発期間

令和X年度から令和X年度（X年間） または（XXカ月）

実施計画書「2-3研究開発実施計画」の項で示した研究開発期間を記入してください。

（３）受託者

　　　株式会社○○＜代表研究者＞

○○○株式会社

学校法人○○学院

国立大学法人〇〇大学

当該課題の受託（再受託者を含む）している契約者（企業等及び大学等）の正式名称を全て記入してください。

代表研究者である研究実施機関が分かるように「＜代表研究者＞」を付記してください。

日欧共同研究、日米共同研究の場合は、「（8）外国の実施機関」に外国の研究実施機関名及び国名を記入してください。

（４）研究開発予算（契約額）

令和X年度から令和X年度までの総額XX百万円（令和X年度XX百万円）　※百万円未満切り上げ

延長判定後に継続する課題、年度途中で契約額が変更になった課題等については、変更契約後の総額を記入してください。

但し、延長判定後の契約変更の成否、契約額の確定が未了の場合は、原契約の契約額を基に記入してください。

（５）研究開発項目と担当

　　　　研究開発項目１　△△△の評価の研究開発

１－１. □□技術　（株式会社○○）

１－２. ■■技術　（○○○株式会社）

　　　　研究開発項目２　△△△の実装の研究開発

２－１. ◇◇技術　（株式会社○○、学校法人○○学院）

２－２. ◆◆技術　（国立大学法人○○大学）

（６）特許出願、外部発表等

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  |  | 累計（件） | 当該年度（件） |
| 特許出願 | 国内出願 | 4 | 1 |
| 外国出願 | 2 | 0 |
| 外部発表等 | 研究論文 | 6 | 2 |
| その他研究発表 | 20 | 8 |
| 標準化提案・採択 | ２ | １ |
| プレスリリース・報道 | 2 | 1 |
| 展示会 | 4 | 1 |
| 受賞・表彰 | １ | 0 |

・特許出願の欄は、国内出願及び外国出願に分けて記入してください。

累計、当該年度の件数は産業財産権出願一覧表シートに集約されていますので、その件数を記入してください。

・外部発表の欄は、研究論文、その他研究発表、プレスリリース、展示会及び標準化提案の欄ごとに、件数を記入してください。（様式2-6外部発表一覧表の【集計】シートを参照してください。）

次年度継続課題の場合は本項目名とし、目標に対して、当該年度に得られた成果について記入してください。

（７）具体的な実施内容と成果

　　　［記入例］

研究開発項目１　△△△の評価の研究開発

１－１. △△の最適な粒度を確定するため、□□によるデータ測定を実施した結果、〇〇の評価のための最適な粒度が◆◆の範囲であることの知見を得た。

研究開発項目２　△△△の実装の研究開発

２－１. △△の最適な実装方法を検証するため、□□によるデータ測定を実施した結果、〇〇の実装に必要な条件が◆◆の範囲であることの知見を得た。

　　　・記入の分量は、概ね1ページを目安としてください。

・年度別実施計画書の「2　研究開発目標」に記載された研究開発項目ごとに、目標、実施内容、成果を簡潔に記入してください。

最終年度課題の場合は本項目名とし、最終目標に対して、全研究期間を通して得られた最終成果について記入してください。

（７）具体的な実施内容と最終成果

［記入例］

　　　研究開発項目１　△△△の評価の研究開発

１－１. △△の最適な粒度を確定するため、□□によるデータ測定を実施した結果、〇〇の評価のための最適な粒度が最終的に◆◆の範囲であることの知見を得た。

研究開発項目２　△△△の実装の研究開発

２－１. △△の最適な実装方法を検証するため、□□によるデータ測定を実施した結果、〇〇の実装に必要な条件が最終的に◆◆の範囲であることの知見を得た。

　　　・記入の分量は、概ね1ページを目安としてください。

・年度別実施計画書の「2　研究開発目標」に記載された研究開発項目ごとに、目標、実施内容、成果を簡潔に記入してください。

次年度継続課題の場合は、本項目名としてください。

（8）今後の研究開発計画

　研究期間中の今後の研究開発計画を記入してください。

最終年度課題の場合は、本項目名としてください。

または

（8）研究開発成果の展開・普及等に向けた計画・展望

　研究開発終了にあたって今後の研究開発成果の展開・普及等に向けた計画・展望を記入してください。

日本国内のみの委託研究は本項目を削除してください。

（９）外国の実施機関

0000 GmbH. (ドイツ) ＜代表研究者＞

University of 0000 (イギリス.)

日欧共同研究、日米共同研究の場合は、外国の研究実施機関名及び国名（カタカナ）を記入してください。

代表研究者である研究実施機関が分かるように「＜代表研究者＞」を付記してください。

※ご注意

・当該資料（成果概要書）は、研究開発の紹介として、Web等で公表される資料となります。

・既存の著作物等を利用する場合は、著作権者の許諾を得るか、出典を明記した引用（公正な慣行に合致した正当な範囲内）としてください。

・著作権を保有していない論文等、新聞雑誌等の記事、Webページの写しなどは添付しないでください。必要な場合は、参照先のURL等を記入してください。

・秘匿すべき技術情報（ノウハウ）に関わる事項については、NICTにご相談ください。